

ICCO文化交流創成 コーディネーター 資格制度について

教育プログラム担当

渡辺 愛子

ICCOとは

◎ICCO: Intercultural Coordinator

「文化交流創成コーディネーター」

「新たな時代や社会づくりに向けて、人と人、
人とモノ、コトとコト、モノとモノ、地域と地域、
地域と世界など、文化と文化の＜あいだ＞に
つながりをつける力を備えた人材」

— 日本国際文化学会HPより

ICCO資格制度とは

◎日本国際文化学会が認定（2015年度～）

「これからの時代が求める人材像は、特定の文化の枠組みの中で自分は何者かと考える人から、枠組みを超えて行動する人へ。国際文化学会は、様々な場で新たな文化の交流や創成に携わろうとする人を、インターカルチュラル・コーディネーターとして認定します。」

— 日本国際文化学会HPより

参加認定大学一覧

- 青山学院大学（総合文化政策学部）
- 佐賀大学（文化教育学部・国際文化課程）
- 静岡文化芸術大学（文化政策学部国際文化学科）
- 新潟県立大学（国際地域学部国際地域）
- 文教大学（国際学部・国際学研究科国際学専攻）
- 桃山学院大学（国際教養学部国際教養学科）
- 山口県立大学（国際文化学部・国際文化学研究科）
- 龍谷大学（国際学部国際文化学科）
- 多摩大学（グローバルスタディーズ学部グローバルスタディーズ学科）
- 宮崎公立大学（人文学部国際文化学科）
- 名桜大学（国際学群国際文化専攻）

2017年度
より

★早稲田大学（文化構想学部多元文化論系）

資格取得の方法

1. 参加認定大学の学部・学科・系・コース等が指定する科目を選択履修する【A】
2. 短期集中セミナーに参加する(自費)【B】
3. 提出期間内に【A】の成績証明書と【B】の修了報告書類および審査手数料を国際文化学会へ提出
4. 審査を経て、「文化交流創成コーディネーター認定証」が交付される

【A】多元文化論系が指定する科目

I. 基礎科目(8科目)

文化交流創成の学術的基盤を幅広く学ぶ

II. 専攻科目(17科目)

文化交流創成に向けた高い専門知識を獲得する

III. 間文化活動／フィールド・ワーク科目(3科目)

文化交流創成に向けた間文化活動を経験し、
研究調査や企画の実践力を高める

※科目詳細は、配布資料をご覧ください。

【B】 短期集中セミナーについて

年に 1 回、夏季に 1 週間程度実施予定

- ◎ 日本国際文化学会主催により、各大学から参加者を募り、合宿形式で実施（定員は30名程度）
- ◎ 内容： 企画・調査のグループワーク、地域社会と連携したワークショップなど
- ◎ 開催情報：
 - 2015年度・2016年度は、京都（龍谷大学）にて
 - 2017年度は、沖縄（名桜大学）を予定

期待できること

- ◎ 多元文化論系指定科目の履修により、グローバルな視点から、地域交流、文化間交流の過去と現在について、幅広く学ぶことができる
- ◎ 短期集中セミナーを通じて、日本各地から集まってくる学生たちと、大学横断的な交流が持てる（優秀者は、翌年の日本国際文化学会フォーラムにおいて発表する機会あり）
- ◎ 将来、国際交流、文化交流にかかわる職業を目指す際のキャリアアップにつながる

詳細は . . .

- ◎ 日本国際文化学会ウェブサイトをご覧ください。
<http://www.jsics.org/>

あるいは――

- ◎ ICCO資格制度・教育プログラム担当の渡辺まで
お尋ねください。
aiko@waseda.jp

Thank you!